

広尾防災公園は、平成22年4月の開園を目指して、近隣の皆様のご協力を得ながら工事を進めています。現場は安全面や環境面に配慮して柵を設けているため、普段はなかなか現場の様子が見えないので、この「現場だより」を通じて工事の進捗情報等について皆様にお伝えします。

☆公園内にある3棟の建物を紹介します！

①管理棟

鉄骨造の2階建、公園管理事務所と防災用の備蓄倉庫から構成されています。

A) 公園管理事務所

開放的な大きなガラス、温もりのあるウッドデッキ、それらに連なる明るいホール、公園の眺めを楽しめる八角形の外観が特徴です。

事務室は、普段は公園の管理や運営を行います。災害時は情報収集や伝達を行う場となります。2階には会議室が3室ありますが、普段は公園管理や防災等のボランティア活動の場となり、災害時はプライバシーが保てる部屋として、様々な使い方が可能です。

1、2階のホールは、普段は休憩場所になりますが、災害時は復旧活動の作業スペース等としても使用出来ます。

眺めの良いウッドデッキは、災害時には一時避難場所である公園全体の指揮をとる場所として利用出来ます。

B) 備蓄倉庫

様々な物資を出し入れする開口部分のシャッター、作業の明り採りとなる窓等、簡素な外観です。でも災害時には、この倉庫が大活躍します。トイレトペーパーやおむつ等の生活用品、救助作業に使う機材等が直ちに活用されます。さらには、緊急輸送された物資の保管や仕分け作業も行われます。

普段はひっそりと目立ちませんが、いざという時には頼りになる倉庫です。



鉄骨を組み立てて建物の骨格を造っています



管理棟(管理事務所および備蓄倉庫)の完成イメージ



備蓄倉庫の外壁



②屋外便所(大) ③屋外便所(小)

鉄筋コンクリート造の平屋建。外観は、“木の葉”をイメージした特徴的な楕円形です。これは同時に、死角(見えない部分)を減るので、屋外便所の安全性に配慮しています。

便所は、男子用・女子用の他に、多目的便所を設けています。多目的便所は、車椅子を使用する方はもちろんですが、乳児連れのファミリーの公園利用を想定し、乳児のおむつ替え用のベビーシート(折りたたみ式)も備えています。

来園する皆さんが必ず使う建物、きれいに大事に使いたいものです。



きれいな楕円となるよう、丁寧に型枠を組み立て



☆公園内の建物位置は、次のとおりです。



ご近所の方々には工事中に御迷惑をおかけしましたが、広尾防災公園の整備も、残すところ僅かとなりました。この「現場だより」で色々な現場状況をご報告させていただきましたが、いよいよ次回が最終回となります。特集のご要望がございましたら、是非、広尾防災公園担当室まで御連絡下さい。